

年代	墓所名	銘記元号	特徴	霊園での所在地 基数		
1682	井野口家	天和2、元禄11、宝永1、5、享保4、明治40、41	古い板碑型墓石（縦84cm.横35cm）と唐破風付墓石（「本家」と刻まれている、縦135cm.横最短部26cm）櫛形墓石（「分家」と刻まれている、縦台座を除く65cm.横25cm） 井桁紋	1-05-02-北	東	三基
1781	樋口家	天明1、寛政4、文化2	1基角台頭角型だが墓碑は全く読めず、台座に「樋口」	1-05-32-南	西	二基
1785	山崎家（立て板に「山崎まつ」）	寛政元年7月、文政3年3月、文政10年1月、天保6年9月、ほか	背後に「了□禅定門 天明五年九月七日」と銘のある笠付墓	1-08-19-南	東	一基
1785	服部家（撤去を免れたようです）	天明5、寛政10、天保11、明治3	一基（天明、寛政）は櫛形、もう一基（天保、明治）は角台頭角柱 いちよう並木に面す	1-01-14-南	中	二基
1791	町田氏、梶田八左衛門入道、宮崎氏、堀かね	寛政3、天保10、萬延1、文政4、安政2、明治36、明治38、昭和8	四基が同じ敷地にあり、その内二基は江戸期の櫛形。堀かね天理教千龍宣教所	1-05-10-北	西	四基
1796	「清戸水」（墓石下部に）	寛政8年	平頭角柱型、鷹の羽紋	1-08-01-北	中	一基
1796	清水家「清水實道之墓」ほか（立て板に「清水三保、忠平、糸、ヤス」）	寛政8年6月、文政6年1月、天保10年ほか	地蔵、明治12年3月の銘、文政、安政銘墓は角台頭角柱型	1-08-19-南	中	三基+地蔵
1804	島津家（立て板に小瀬義雄、島津末、栄造ほか）	文化1年8月、文政2、8、天保7、12年	出っ張りが山型の角台頭角柱型だが台座から落ちている	1-08-07-北	東はし	一基
1815	松嶋家（立て板に松嶋善太郎、ノブ）	文化12、天保14、弘化4、元治1	角台頭角柱型、萬紋	1-05-03-北	東	一基
1843	間宮 深川（江戸の「深川」と思われる）彦坂（立て板に間宮兼吉、福松、深谷謙二など）	天保14年1月、弘化3年9月、明治17年4月	角台頭角柱型	1-08-03-北	中	一基
1849	俗名角善吉墓（立て板「不詳」）	文久3、嘉永2、明治5		1-05-12-南	西	一基
1856	「先祖代々 松坂屋」（立て板に名古屋安五郎、板坂松五郎、藤田惣吉、島田安五郎）	文久3、安政4、	一基は櫛形墓石だが碑銘読めず	1-05-01-北	西	三基
1883	豊泉家	明治16、40、41、昭和3		1-01-13-南	東	四基
1888	加藤家	明治21年		1-04A-02-南	西	一基
1889	松村家之墓	明治22年		1-04B-01-南	西	一基
1889	「澤家之墓」（澤為量）、「秋山君江之墓」	明治22年8月、明治43年10月	幕末期の尊皇公家、戊辰出羽戦争に副総督として従軍、養子の宣嘉は文久三年の「七卿落ち」の一人。宣嘉の墓所は伝通院にある。神宮滋『戊辰戦争出羽戦線記』参照	1-01-03-南	東	二基

1897	上田家	明治30、44、大正7、11	ハナミズキ	1-01-02-北	西	一基
1898	西尾家	明治31、33、35		1-01-01-北	西	二基
1898	矢吹戦一、勝子之墓	明治31、大正9		1-03-03-北		一基
1899	「故關金蔵翁 妻由喜子之墓」(立て板に「丹羽活一郎、岡道男」)	明治32年5月 明治38年12月昇天	巨大な石板型	2-01-16-南		一基
1899	先祖累代之墓(立て板に「高山ミの、文吉、岩吉」)	明治32年～昭和	角台頭角柱型、草に埋もれている	1-08-19-北	西	一基
1902	堀口氏(立て板には内山家)	明治36	樹々に埋まっている	1-05-09-北	西	一基
1904	宮本家	明治37		1-01-07-南	西	二基
1905	「大屋玄治、美野之墓」	明治38、39	両側に榊(神式墓?)	1-01-10-南	中	一基
1906	伊藤家	明治39、40		1-01-13-北	東	一基
1908	「先祖代々」台座に「斎藤」(立て板に「斎藤助次郎、八十」)	明治41年3月21日斎藤助次郎建之	いちょうの巨木の下で根により墓石動かされている	1-08-27-北	西	一基
1908	「先祖累代之墓」(立て板に「猿橋文次郎」)	明治41年12月猿橋福太郎建之	木の根により落ちた墓石	1-08-07-南	西	一基
1908	加藤家累代之墓(立て板に「加藤和平、婦じ、俊太郎」)	明治41年合葬 加藤和平		1-08-26-南	中	一基
1908	松本家之墓、松本理三郎之墓	明治41、大正7、昭和9、13 大正5、7		1-07-20-南	西	二基
1910	石井家	邦術義雄居士 明治43年	大きな敷地、巨大な墓石	1-04-B-06-南	西	一基
1910	先祖累代之墓(森下家)	明治43年建之 天保9年、明治32年		1-04A-02-南	西	一基
1911	土屋家	明治44建之(明治15年銘)		1-01-12-南	西	一基
1913	大熊精一之墓	大正2年8月建之		1-05-28-北	東	一基
1913	野村家之墓	大正2		1-05-25-北	中	一基
1914	恒川家之墓(立て板に「恒川柳作、陽一郎、タマ」)	大正3年～5年の忌日銘		1-08-24-南	西	一基
1915	「瑞櫻道押弘命之奥都城 墓」(立て板に「矢野小三郎、きねお、柏木甲子雄」)	大正4年6月	立て板反対の南側にある	1-08-29-北	中	一基
1915	青木家之墓	大正4年4月建之		1-07-20-南	中	一基
1915	佐藤家之墓	大正4年11月 佐藤蔵次郎建之		1-09-07-北	西	一基
1916	佐藤家累代之墓(立て板に「佐藤鉄五郎、すゑ」)	大正4年1月25日佐藤季子建之		1-08-08-北	西	一基
1918	リキ・ボンマルシャン	nov.10 1918	墓碑銘 フランス語	1-東6-01	南	一基

1920	小川家之墓（立て板に「小川ハツ」）	大正9年10月	設立者小川ハツ	1-08-22-南	西、道に面す	一基
1920	根本家、小穴清子	大正9、15		1-01-14-北	東	二基
1920	ハマコ・バーデュー	nov.10 1920	墓碑銘 英語	1-東6-02	北	一基
1923	石黒家	大正12		1-01-07-南	中	一基
1923	鈴木氏代々之墓	大正12年4月17日 鈴木長太郎建之		1-05-33-南	西	一基
1923	先祖代々之墓（小林家）	大正12年1月25日 施主小林信一		1-08-01-南	中	一基
1924	笹川家（板に笹川勝之助、みち）	大正13年3月笹川晋吾建之		1-08-15-南+		一基
1924	松村家之墓	大正13		1-05-16-南	中	一基
1925	川俣家之墓（立て板に「川俣忠雄、慶四郎、節子」）	大正14年5月 川俣慶四郎建之		1-08-31-南	東	一基
1925	斎藤家之墓	大正14年	大きな敷地、西向き	1-02-05-西	中	一基
1925	松本家之墓（立て板に「松本長、和子、アヤ」）	大正14年7月 松本綾乃建之		1-08-30-北	西	一基
1926	「南無阿弥陀仏」（立て板に千鳥家）	大正15年12月 岡崎藩千鳥きよ建之		1-03-19-南	東	一基
1926	荒川家之墓	大正15年10月建之	樹々に埋もれている	1-東6-04-西		一基
1928	「南無阿弥陀仏」（立て板に吉田家）	昭和3年7月建之		1-05-16-南	西	一基
1928	アリス・ミラー	mar.5 1928 銘	明治大正期、四谷鮫ヶ谷や千駄ヶ谷のスラムで保育・教育等の支援を行った米国人宣教師。1-東6-1（詳細は郷土資料館研究紀要『生活と文化』第16号所収浜地真実子氏の御論攷を参照）	1-東6-01	南	一基
1928	中島家	昭和3、10	嬰兒の墓	1-05-04-北	東	一基
1929	小泉家之墓	昭和4年5月建之		1-07-09-南	中	一基
1930	志賀家	昭和5？	自然石	1-05-03-北	西	一基
1932	小笠原家之墓（板に「小笠原知新、新三郎」）	昭和7年3月18日小笠原新三郎建之	樹々に埋もれている	1-08-12-北	やや東	一基
1933	木津家之墓	昭和8年2月木津正建之		2-03-01-北	中	一基
1933	藤井家之墓	昭和8年 藤井明建之		1-04 B-05-南	西奥	一基
1934	小宮家累代之墓（立て板に「小宮猪三郎、昇、つ祢」）	昭和6年7月小宮昇建之		1-08-16-北	中	一基
1936	田口家	昭和11	天理教高田馬場宣教所	1-05-06-北	西	一基
1939	萩原家	昭和14	けやきの大木の下	1-05-02-南	西	一基
1950	長谷川家	昭和30？		1-05-02-南	中	一基

1953	芳岡家之墓（立て板に「芳岡あき、亮一郎、トリ、登喜」）	昭和28年10月建之		2-01-08-南	中	一基
1956	内藤家之墓（立て板に「石田進、文雄、三郎、内藤美代子、嘉吉」）	昭和31年2月内藤嘉吉建之		1-08-08-北	中	一基+墓誌碑
1958	小林、西尾家之墓	昭和33年3月小林常太郎建之		2-03-07-	東	一基
1963	佐藤家之墓（立て板に「佐藤一雄、笑子、スワ、辰彦」）	昭和38年6月 佐藤昌彦建之		1-08-28-南	中	一基
1963	御園生家之墓	昭和38年3月 櫻井とみ建之		2-03-02-南	東	一基
1967	尾形月耕之墓（撤去を免れたようです）	昭和42年卯月	明治期の絵師。元禄4年銘の観音菩薩像、明暦七年、享保十四年銘の如意輪観音像と墓誌碑あり。	1-東6-03-東	中	一基+墓誌+石仏二体
1968	池付家之墓	昭和43年9月 達雄、栄子建之		1-西6-02	西	一基
1975	相川家	昭和50		1-01-03-北	西	一基
1976	佐久間家之墓	昭和51年12月吉日 佐久間六郎建之		2-03-06-	中	一基
1986	佐々木家、岡本家	昭和61年3月 岡本勝建之		1-03-09-東		一基
	（立て板に小島頼一羽場茂一）		何もない	1-04 B-02-	西	
	（立て板に「大藤芳雄、松太郎」）		何もない	1-08-30-南	中	
	（立て板に「肥土萬吉、かね、ぬい」）		何もない	1-08-29-北	西	
	（立て板に「不詳」）		何もない	1-05-24-西	南	
	（立て板に「不詳」）		何もない けやきの下	1-08-34-東	北 奥	
	〔立て板に安藤太一、山城トク、日持小二郎〕		何もない	1-07-06-東	中	
	（立て板に藤澤銀二郎）		門柱のみで何もない	1-東6-04-東		
	「先祖代々 小田切」（立て板「不詳」）	無銘		1-08-04-南	西	一基
	「南無妙法蓮華経」、墓誌	墓誌記載 文化4年5月～昭和20年8月		1-08-02-南	西	一基+墓誌碑
	「和久井之墓」（立て板に「藤代利子」）	無銘		1-08-04-北	や 中	一基
	岩田家之墓		薦が絡まっている	1-04 B-04-	西 奥	一基
	解説不能、台座に「山本」（立て板に「山本家」）	不明		1-05-01-南	西	一基
	笹川家	不明	墓はなく板状の石のみ	1-05-16-南	東	不明
	篠崎家之墓	不明	直ぐ横に新しい篠崎家之墓（昭和52年4月建之）あり	1-05-31-北	中	一基
	柴田家	不明	ハナミズキ、大きな敷地	1-01-02-南	中	一基

上記墓 隣（立て板に「木村宇太郎、うた」）		草に埋もれて何もない	1-08-04-北	中	
鈴木氏（立て板には「大田シゲシ」）	不明	一基は櫛形と思われ、もう一基は壊れている	1-05-02-北	中	二基
二体の石仏と台座のみ（立て板に「藤田満佐、俊夫」）		二体の石仏あり	1-08-06-南	中	
野田家之墓	無銘		1-05-18-南	東	一基
原家「大講義原行治郎大人之墓」	無銘		1-05-01-南	西	一基
ピュートル・デニーツウィッチ ほか			1-東6-02	東	一基
不詳（立て板にも「不詳」）		低木しない	1-05-24-南	西	
藤原家之墓	無銘	草に埋もれている	1-05-14-南	東	一基
不明（立て板に「亀園ツ子、今井ふ志ほか」）	不明	何もない	1-03-04-南		一基
不明（立て板に「長尾要蔵、藤井治和、他」）		石の板のみ	1-05-29-南	中	
不明（立て板に「吉田正夫他」）		何もない	1-05-33-南	西	
ブラジミヤール・Kブラジュニコフ		美しいレリーフのある十字架、墓碑銘キリル文字	1-東6-02	南	一基
百瀬家之墓（板に「百瀬識、勘太郎、武士、加納とみ」）	銘無し		1-08-13-北	やや東	一基
安本家	不明		1-04 B-02-南	東	一基
読めず（立て板に「竹部、山本新吉」）	風化激しく読めず		1-08-01-南	西	一基
読めず（立て板に「出口正一、正信」）	墓石表面の文字摩耗して読めず		1-08-07-北	東	一基



